



つむぐ 糸方ぐ

NO.175 令和7年10月3日
南教育事務所 社会教育チーム

令和7年度 県南地区放課後支援者研修会 9月9日(火)

放課後子ども教室や、放課後児童クラブ等に関わる皆様を対象に、子どもの理解を深め、日常の指導技術の向上をねらいとした研修会を美郷町公民館・南ふれあい館で開催しました。

内容は、前半が南教育事務所指導主事（特別支援教育担当）の大川浩平氏による講話「子どもたちと支援者の笑顔のために」、後半が保呂羽山少年自然の家指導チームの皆様による実技研修「放課後子ども教室や放課後児童クラブでも活用できるしおり作り」でした。今年度も100名を超える参加者の皆様の活気と笑顔あふれる研修会となりました。



【感想紹介】（研修Ⅰ：講話）

- 普段仕事をしていて悩んでいたことについてお話を聞くことが出来て勉強になった。
- 指示が通らない子どもにどのような背景があるか、その子たちへの声かけなど分かっていただけ、はっとさせられた研修だった。ほめること、よいところを見付けることが、支援者にもよい結果になると思った。



【感想紹介】（研修Ⅱ：実技研修）

- いろいろ工夫することで遊びになり、作品になり、想像することが楽しい時間だった。
- 身近な材料で簡単にできてよかった。子どもたちとも機会があれば一緒に行い「できる」喜びを体験させたい。

アドバイザーコラム



7月31日（木）と9月6日（土）、美郷町わくわくサマースクール2025

「陶芸に挑戦してみよう！」の様子を拝見しました。手びねりによる成形と釉薬を使用する色付けの全2回です。児童25名と保護者10名が参加しました。粘土どうしの接着剤となる土泥（どべ）を塗った貼り合わせや、細かな作業別のへらの使い方に苦戦しながらも、講師を務めた保呂羽山少年自然の家スタッフの指導を受け、無事成形完了です。色付けのあとは、できあがりを見せ合って歓声が沸き上がりました。10月の美郷フェスタ文化展で「世界に一つだけの作品」が展示される予定です。保護者からは、「二次元コードを使用した申込みが便利だった」「町内3小学校からの公用車による送迎がありがたい」といった声が聞かれました。

同町では、JAXA宇宙教育センターの協力を受けて、わくわくサマースクール第2弾、コズミックカレッジ「水ロケットを作って飛ばそう！」も実施されています。このように、多様な知識や経験をもつ講師による学びの機会を提供することは、公民館教室運営方法の一つです。公民館活動の活性化と地域住民の連携を深めることにもつながっているようです。

